令和４年度 事業報告書

学校法人　金沢科学技術学園

（専）金沢科学技術大学校

Ⅰ．法人の概要

１．基本情報

①法人の名称　　学校法人 金沢科学技術学園

②主たる事務所の住所、電話番号、ＦＡＸ番号、ＵＲＬ

住所：石川県金沢市三社町１１番１６号
電話番号　：(076) 224-3118
ＦＡＸ番号：(076) 233-8528
ＵＲＬ：https://www.kist.ac.jp

２．建学の精神

「技術教育を通した人間教育」を教育理念として掲げ、技術、知識のみの習得にとどまらず、豊かな人間性を育み、あらゆる面で社会に必要とされる技術者の育成を目標に教職員が日々熱心に教育活動に取組んでいます。

３．学校法人の沿革

1986　学校法人金沢科学技術学園及び金沢科学技術専門学校の設置認可を受ける。

1987　金沢科学技術専門学校開校。
自動車工学科、コンピュータ学科、電気･電子工学科、生物工学科、素材工学科、水産増殖学科、建築デザイン学科を開設。
自動車整備士１種養成施設として運輸省より認可を受ける。

1988　工事担任者デジタル･アナログ試験の受験科目一部免除を郵政省より認定される。

1989　建築デザイン学科が石川県知事により２級建築士及び木造建築士試験の受験資格認定を受ける。インテリアデザイン学科を新設。

1990　本校舎（改修工事）竣工。別館新校舎竣工。
経営情報工学科、機械システム工学科を新設。
インテリアデザイン学科が、財団法人建築技術教育普及センターよりインテリアプランナー試験の受験資格に係る課程の認定を受ける。

1991　建築デザイン学科を建築学科に名称変更。

1994　水産増殖学科及び素材工学科を廃止。環境工学科を新設。

1995　この年の２年課程の卒業生から、文部科学省より「専門士」の称号が付与される。

高等課程（工業技術課程）を設置。
1998　コンピュータ学科の名称を情報システム学科に変更。
メディアクリエイト学科、ビジネスパソコン学科、映像イベント学科を新設。
1999　マルチメディアスタジオ完成。
2000　電気･電子工学科をデジタル･通信工学科に名称変更。
2001　環境工学科、機械システム学科を廃止。
校内高速ネットワークシステム構築。
2002　生物工学科、インテリアデザイン学科を廃止。
プレゼンテーションルーム完成。
2003　自動車実習設備増設（実習室ＥＶを設置）。
2004　映像イベント学科を映像音響学科に名称変更。
家具クラフト学科を新設。
自動車工学科を整備ライセンスコースとトータルメカニックコースの２コースに再編。
自動車実習設備増設（実習場拡張工事）。
2005　建築学科実習設備増設（製図機全台更新）。
2006　自動車工学科実習設備増設（塗装用ブース設置）。
2007　デジタル･通信工学科、メディアクリエイト学科を廃止。
2008　情報システム学科を情報工学科に名称変更し、情報システムコースとソフトウェア開発コースの２コースを設置。
2009　自動車工学科実習設備更新（自動車用ラークリフト）
映像音響学科照明機材等更新。
2010　ＲＣ３階建て民間アパートを学校の学生用寮棟として購入、改修。
2011　電気エネルギー工学科を新設。
北陸新幹線開通のため、校地の一部が金沢市により収用。
本館･別館屋上に太陽光発電装置を設置。
本館１・２階トイレ改修。
2012　本館校舎壁面防水工事（更新）実施。
別館実習用自動車置場の整地（収用による工事）。
2013　本館３・４階トイレ改修。
2014　本館７・８階トイレ改修。
学生寮屋上に太陽光発電装置を設置。
2015　本館５・６階トイレ改修。
本館蛍光灯ＬＥＤ照明に変更（1,400 本）。
別館屋上太陽光発電装置増設。
映像音響学科にデジタルオーディオネットワークシステム導入。
2017　映像音響学科のｉ-Ｍａｃ４０台更新。
2018　情報工学科情報システムコースを Web クリエートコースに名称変更。

2019　金沢科学技術専門学校を（専）金沢科学技術大学校に校名を変更。
2020　本館エレベータ２基を更新
2021　高度専門技術専攻科（２年制）を設置。
本館キュービクル更新。
本館･別館火災警報装置更新。
2022　別館蛍光灯ＬＥＤ照明に交換（372 本)。
本館１～8 階段非常灯ＬＥＤ照明に交換。

４．設置する学校・学科等

（１）設置する学校の名称　　（専）金沢科学技術大学校

（２）学科構成

学科名（昼間制）	修業年限	入学定員			収容定員
		１年	２年	３年	
自動車工学科					
・整備ライセンスコース	2年	45名	45名		90名
・トータルメカニックコース	3年	20名	20名	20名	60名
情報工学科	2年	50名	50名		100名
ビジネスパソコン学科	1年	20名			20名
映像音響学科	2年	40名	40名		80名
電気エネルギー学科	2年	20名	20名		40名
建築学科	2年	40名	40名		80名
家具クラフト学科	2年	20名	20名		40名
高度専門技術専攻科	2年	20名	20名		40名

５．学校・学科及び学生数の状況

（2022年5月1日現在）

学校名		入学定員	入学者数	収容定員	現員数
（専）金沢科学技術大学校	自動車工学科　整備ライセンスコース	45名	36名	90名	48名
	自動車工学科　トータルメカニックコース	20名	0名	40名	10名
	自動車工学科　トータルメカニックマスターコース	20名	6名	20名	6名
	情報工学科	50名	61名	100名	118名
	ビジネスパソコン学科	20名	0名	20名	3名
	映像音響学科	40名	40名	80名	73名
	電気エネルギー工学科	20名	13名	40名	24名
	建築学科	40名	45名	80名	80名
	家具クラフト学科	20名	14名	40名	20名
	高度専門技術専攻科	20名	0名	40名	2名

６．役員の概要

（定員　理事8名　監事2名）

職　名	氏　　名	就任年月日	選任区分	常・非の別	備　　考
理事長	中山　均	2022.6.12	３号	常勤	(学校職員)
理　事	鈴木　悠一	2022.6.12	３号	常勤	(学校職員)
理　事	野田　政仁	2022.6.12	３号	非常勤	弁護士
理　事	高岡　龍之介	2022.6.12	３号	非常勤	会社役員
理　事	本舘　勇	2022.6.12	２号	非常勤	元公務員
理　事	林　健司	2022.6.12	２号	非常勤	医師
理　事	田島　元	2022.6.12	２号	非常勤	会社顧問
理　事	田井　友章	2022.4.　1	１号	常勤	(専)金沢科学技術大学校長
監　事	米田　正	2022.6.12		非常勤	会社役員
監　事	河野　彰人	2022.6.12		非常勤	会社役員

1号　この法人が設置する（専）金沢科学技術大学校長

2号　評議員の内から評議員会において選任した者

3号　学識経験者の内から理事会において選任した者

７．評議員の概要

（定員　17 名）

氏　　名	就任年月日	選任区分	備　　考
佐々木　孝	2022.6.12	３号	学校職員
田島　元	2022.6.12	３号	会社顧問
野田　政仁	2022.6.12	３号	弁護士
田井　友章	2022.6.12	３号	校長
林　健司	2022.6.12	３号	医師
伏島　泰全	2022.6.12	３号	僧侶
本舘　勇	2022.6.12	３号	元公務員
中山　均	2022.6.12	３号	学校職員
高岡　龍之介	2022.6.12	３号	会社役員
高木　功介	2022.6.12	２号	個人経営者
山形　信也	2022.6.12	２号	個人経営者
中村　政晴	2022.6.12	２号	会社員
竹田　紀子	2022.6.12	１号	学校職員
山中　義信	2022.6.12	１号	学校職員
徳田　佑希子	2022.6.12	１号	学校職員
大橋　嘉弘	2022.6.12	１号	学校職員
鈴木　悠一	2022.6.12	１号	学校職員

1 号　法人の職員で理事会において推薦された者の内から、評議員会において選任した者

2 号　この法人の設置する学校を卒業した者で年齢 25 歳以上の者の内から、理事会において選任した者

3 号　学識経験者の内から理事会において選任した者

８．収容定員充足率

（毎年 5 月 1 日現在）

学校名	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度
(専)金沢科学技術大学校	69.8%	68.2%	65.9%	64.6%	62.0%

９．教職員の概要

（2022 年 4 月 1 日現在）

	本務者（人）	兼務者（人）
教員	16	65
職員	8（※）	0

（※派遣１名含む）

Ⅱ．事業の概要

１．法人事業の概要

（１）　理事会

理事会の開催状況

開催日時	議　題
2022 年 5 月 27 日 15：30～	2021 年度事業報告並びに 2021 年度財務報告の件 2022 年度事業計画案並びに 2022 年度予算案の件 任期満了に伴う評議員選任の件 任期満了に伴う監事選出の件
2022 年 5 月 27 日 16：30～	任期満了に伴う理事選任の件
2022 年 5 月 27 日 16：50～	理事長選任の件 監事選任の件 役員賠償責任保険の契約内容の承認と契約更新の件
2023 年 3 月 16 日 15：00～	学則変更の件

（２）　評議員会

評議員会の開催状況

開催日時	議題
2022 年 5 月 27 日 15：00～	2021 年度事業報告並びに 2021 年度財務報告の件 2022 年度事業計画案並びに 2022 年度予算案の件
2022 年 5 月 27 日 16：00～	理事会より推薦された評議員の選任の件 評議員会選出理事任期満了に伴う選任の件 理事会より選出された監事の承認の件

２．学校事業の概要

（１）２０２２年度年間行事一覧表

令和4年度(2022年度) 年間行事予定　　金沢科学技術大学校

日	曜	2022年 4 月	日	曜	5 月	日	曜	6 月	日	曜	7 月	日	曜	8 月	日	曜	9 月
1	金	学年開始	1	日		1	水		1	金		1	月	＊夏期休暇開始	1	木	M･T科授業再開
2	土		2	月	開校記念日	2	木		2	土		2	火		2	金	
3	日		3	火	憲法記念日	3	金		3	日		3	水		3	土	
4	月		4	水	みどりの日	4	土		4	月		4	木		4	日	
5	火		5	木	こどもの日	5	日		5	火		5	金	◆体験入学会AM	5	月	
6	水		6	金		6	月		6	水		6	土	◆体験入学会AM	6	火	
7	木		7	土		7	火		7	木		7	日		7	水	
8	金	入学式（石川県女性センター）	8	日		8	水	M･T科前期・中間試験	8	金		8	月	臨時休校日	8	木	
9	土		9	月		9	木		9	土	◆体験入学会AM	9	火		9	金	
10	日		10	火		10	金	前期・中間試験	10	日		10	水	臨時休校日	10	土	
11	月	オリエンテーション、教科書・教材渡し	11	水		11	土		11	月		11	木	山の日	11	日	
12	火	前期・授業↓	12	木		12	日	◆体験入学会AM	12	火		12	金		12	月	
13	水		13	金		13	月		13	水		13	土		13	火	
14	木		14	土		14	火		14	木		14	日		14	水	
15	金		15	日		15	水		15	金		15	月		15	木	M･T科前期・期末試験
16	土		16	月		16	木		16	土		16	火		16	金	
17	日		17	火		17	金		17	日		17	水		17	土	
18	月		18	水	（春のレクレーション）	18	土		18	月	海の日	18	木		18	日	
19	火		19	木		19	日		19	火		19	金		19	月	敬老の日
20	水		20	金		20	月		20	水		20	土		20	火	
21	木		21	土		21	火		21	木	M･T科就職ガイダンス	21	日	◆体験入学会AM/PM	21	水	
22	金		22	日	◆体験入学会AM	22	水		22	金	＊MT夏期休暇開始	22	月		22	木	M･T科補講・再試験
23	土		23	月		23	木		23	土		23	火	臨時休校日	23	金	秋分の日 ◆体験入学会AM
24	日	◆体験入学会AM	24	火		24	金		24	日	◆体験入学会AM/PM	24	水		24	土	
25	月		25	水		25	土		25	月		25	木	臨時休校日	25	日	
26	火		26	木		26	日		26	火	前期・期末試験	26	金		26	月	
27	水	学生健康診断	27	金		27	月		27	水		27	土		27	火	学科別集中講義
28	木	学生健康診断	28	土		28	火		28	木		28	日		28	水	
29	金	昭和の日	29	日		29	水		29	金		29	月		29	木	M･T後期・授業↓
30	土		30	月		30	木		30	土		30	火		30	金	
			31	火					31	日		31	水				

令和4年度(2022年度) 年間行事予定　　金沢科学技術大学校

日	曜	10 月	日	曜	11 月	日	曜	12 月	日	曜	2023年 1 月	日	曜	2 月	日	曜	3 月
1	土		1	火		1	木		1	日	元日	1	水		1	水	成績・卒業判定会議
2	日		2	水		2	金		2	月	振替休日	2	木		2	木	
3	月	SWPVEAF後期・授業↓	3	木	文化の日	3	土		3	火		3	金		3	金	
4	火		4	金		4	日		4	水		4	土		4	土	
5	水		5	土		5	月		5	木		5	日		5	日	
6	木		6	日		6	火		6	金		6	月		6	月	
7	金		7	月		7	水		7	土		7	火	M･T2学年末試験	7	火	
8	土		8	火		8	木		8	日		8	水	学年末試験	8	水	
9	日		9	水		9	金		9	月	成人の日＊冬期休暇終了	9	木		9	木	
10	月	スポーツの日	10	木		10	土	◆体験入学会	10	火	●授業再開	10	金	M･T1学年末試験	10	金	
11	火		11	金		11	日		11	水		11	土	建国記念日	11	土	
12	水	避難訓練日	12	土	◆体験入学会AM	12	月		12	木		12	日		12	日	
13	木		13	日		13	火		13	金		13	月		13	月	
14	金		14	月		14	水		14	土		14	火		14	火	
15	土	◆体験入学会AM	15	火		15	木		15	日		15	水	補講・再試験	15	水	
16	日		16	水		16	金		16	月		16	木		16	木	第35回・卒業式
17	月		17	木	後期・中間試験	17	土		17	火		17	金		17	金	
18	火		18	金		18	日		18	水		18	土	◆体験入学会AM	18	土	◆体験入学会AM
19	水		19	土		19	月		19	木		19	日		19	日	
20	木	（秋のレクレーション）	20	日		20	火		20	金		20	月		20	月	
21	金		21	月		21	水		21	土	◆体験入学会AM	21	火		21	火	春分の日
22	土		22	火	M･T科後期中間試験	22	木	1年生（MT除く）就職ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ	22	日		22	水	M･T科補講・再試験	22	水	
23	日		23	水	勤労感謝の日	23	金	＊冬期休暇開始	23	月		23	木	天皇誕生日	23	木	
24	月		24	木		24	土	■第3次入試	24	火		24	金		24	金	
25	火		25	金	M･T科就職ガイダンス	25	日		25	水		25	土	■第5次入試	25	土	■第6次入試
26	水		26	土	■第2次入試	26	月		26	木		26	日		26	日	整備士登録試験
27	木		27	日		27	火		27	金		27	月		27	月	
28	金		28	月		28	水		28	土	■第4次入試	28	火		28	火	
29	土	■第1次入試	29	火		29	木		29	日					29	水	
30	日		30	水		30	金		30	月					30	木	
31	月					31	土		31	火					31	金	学年終了

（２）分野別学科の状況

【自動車系学科】

自動車整備士の確保ため、国の方もここ数年力を入れていただいている状況ですが、自動車に興味を抱く若者の減少には歯止めがかからない感は否めないところです。近い将来、完全自動車運転ということになれば、より一層のことと思われます。また、NHK 地上波にて、「あなたはなぜ整備士をやめて転職したのですか」という番組があり、「給料が安い」という複数回答から、視聴した人には負のイメージを持たせてしまったところもあると思います。

そんな状況の中、どうすれば整備士を目指す学生を増やすことができるのか。まず整備士試験（２級）合格率の 100％達成が必須となります。ここ５年間の実績は 92.6％が１度ありますが、その他の年は 100％です。学校としても毎年 100％合格を目指し、継続的に取り組んでおります。また、今後１級資格の実績を積み上げていく必要があります。

次に学生に対するアピールですが、いろんなところで「楽しいことがあるよ」「こんなにやりがいのある仕事だよ」など、美辞麗句が並んでいるのを見ますが、それは良しとしても、「日々進歩する車に対応できるような高度な知識と技術が必要」的な話には疑問を感じます。確かに２級に比べ１級ははるかに難しい資格であることは間違いありませんが、この「難しい」というイメージがマイナス要素として働いているように思えます。実際の現場作業では、「車載式故障診断器」を繋いでしまえば、自動的に故障原因の究明ができる、というのがほとんどです。「高度」「難しい」という言葉から少し離れて「電子制御＝簡単」と受け取ってもらえるよう、そのうえで「資格＝100％＝仕事はできる」ということを、ガイダンス、体験入学等を通じてアピールし、学生確保に繋げていきたいと考えております。

もう一つは、整備士を目指す女子学生の確保です。顧客アンケートに回答があったものには、「女性ならではの・・・でよかった。うれしかった。」という文面が見受けられます。今までは男社会であったあらゆる分野で女性の進出が目覚ましいことに加え、車を運転する半数は女性とすれば、整備業界としても、今後、女性整備士に対するニーズは大きくなることと考えられます。

本校自動車科への入学生は隔年で増減を繰り返しておりますが、そんな中でここ３年、一人、二人、三人と女子学生が入学しております。前述しましたガイダンス、体験入学等を通じて、女子に対するアピールにいっそう力を入れ、一人でも多くの学生確保に繋げたいと考えております。

【情報系学科】

情報系については情報工学科が令和 3 年度は 62 名と急激に入学生数を増やし（前年比約＋51％）、令和 4 年度も 61 名の入学者を確保しました。

学校基本調査でも全国的に情報系の入学生数が増加しており、令和 4 年度も同様な状況が見受けられます。今年度はコロナ禍の影響が緩和され、以前より学校の

遠隔授業や企業のテレワークは減少することが考えられます。

しかし、ＡＩ（人工知能）やビッグデータの導入、５Ｇ（※）の実装、ＡＲ・ＶＲ（※）の普及への期待が非常に高く、ＩＴ（※）人材の需要は増加しています。2030 年には約 79 万人不足すると予測され、今後ますます人材不足が深刻化すると考えられています。（経済産業省推計結果より）

情報系の分野は、データの超高速・超大容量・超大量接続・超低遅延を実現する次世代高速通信規格５Ｇへの商用利用が始まっています。高速通信規格５Ｇがもたらす技術革新は多方面に及び、近い将来これらの技術を使用した快適な生活があたりまえなものになるのは間違いがありません。また、人工知能の進化も目覚ましいものがあります。人間の知的能力をコンピュータ上で実現する様々な技術に活用されています。

このように情報系の分野はこれからもますます多岐にわたって進歩し、数多の新しい職種を生み出していくと予想されます。高校生はそのような時代の移り変わりを敏感に感じ取り、情報分野への進学を希望するものと思われます。

※５Ｇ→高速大容量・低遅延・同時多数接続の特性を持った最新の通信規格。これまでと桁違いの速さでほしい情報が手に入り（高速大容量）、送った命令はすばやく届き（低遅延）、身の回りのものとインターネットを通じてつながることができるようになる（同時多数接続）

※ＡＲ→拡張現実（Augmented reality）現実の世界の一部に仮想世界を反映させる技術

ＶＲ→仮想現実（Virtual Reality）仮想世界に現実の人間の動きを反映させて、現実ではないが現実のように感じさせる技術

※ＩＴ→情報技術（Information Technology）情報を扱う技術の総称

【映像音響系学科】

映像音響学科については、これを設置する専門学校は北陸では当校のみという事もあってか、ここ数年、石川県内はもとより隣県の富山からもコンスタントに学生を集めております。

令和 4 年度は 40 名の入学生と定員に達する安定した入学者数となりました。また学科として数年前から取り組んでいる進級率の改善が、少しずつデータとして現れ、新 2 年生はドロップアウトを 1 割以下に抑えることができました。学科生の約 4 割が女性という女性比率が高い学科であり、よりきめ細やかな対応を行って引き続き進級率の改善に努めていきます。

近年、スマートフォンの普及で誰でも映像や音楽を作成、公開できるようになり、入学前からある程度スキルをもった学生も増えてきています。彼らを満足させるためにも、最新の情報や高度な技術を学べるカリキュラムを常に考え、更新していく必要があると考えます。

就職においては、卒業する学生数に対しての地元の就職先の数が十分ではなく、今後の就職指導も難しい事が予想されます。これらも卒業生の活躍を元に、地元

関連企業との関係をより強くしていきます。近年は、東京など大都市で就職する学生が増える傾向にあり（令和4年度は5名）、意欲のある学生には県外の求人情報も斡旋しながら、就職率全体の向上を目指していきます。
コロナ禍を抜けてイベント業界が賑わいを取り戻していく中で、企業の求人意欲の高まりが予想されます。最新技術の動向を把握しながら、質の高い教育を続けることが、今後の安定した入学者数獲得につながるものと思われます。

【電気系学科】

平成２３年（２０１１年）１月に経済産業省から第二種電気工事士養成の認定校指定を受け、所定の科目の履修と定められた単位数を修得することにより申請のみで同工事士の免許が付与されることとなりました。そのために当科は卒業生が将来電気工事業に就くことを想定した授業内容を展開してきた結果、第二種電気工事士の取得者は１１０名を超え、第一種電気工事士や第三種電気主任技術取得者も輩出し社会の期待に応えてきました。

認定校に指定されて１０数年たち、社会情勢の変化や学生たちの希望、そして企業からの要望もあり昨年から新たなカリキュラム作りに取り組み、今年度入学生から適用できるようにしました。

具体的にはＩＣＴ（※）やデジタル技術等の学習内容や資格取得を考慮したカリキュラム改訂を行うことにより、既にエッセンシャルワーカーとしての社会的地位を確立した電気工事業だけではなく、幅広い製造業にも対応できる学科を目指しました。また、カリキュラム改訂だけではなく新たな教育機材を導入し、実習内容についても一部見直すことにしました。

認定校に必要な単位数やパソコン・ＣＡＤ（※）等の準必修科目等を確保すると、残りの科目（１５単位）で目指す学科づくりをしなければならないので、必ずしも満足したカリキュラム改訂ができたとはいえませんが、今後とも必要な授業内容の見直しやマンパワーを含めた教育資源の整備に努め、これまでの就職率１００％を維持し学生や保護者の期待に応えられよう科職員一同頑張っていきたいと考えています。

※ＩＣＴ→情報通信技術（Information and Communication Technology）コンピューターを単独で使うだけでなく、ネットワークを活用して情報や知識を共有することも含めた幅広い言葉

※ＣＡＤ→コンピューター支援設計（Computer Aided Design）コンピューターを用いて設計するツール

【建築系学科について】

建築学科は、入学生数が30名以下と低迷していた時期もありましたが、平成29年度以降７年間に渡りほぼ40名の定員を確保し続けている状況です。

時に近年は労働人口の減少に伴い建築系の求人数の急増や、建築系への若者の人材

不足が顕著となっています。2025 年に向けて大阪万博や老朽化したインフラ整備に伴う建築需要の高まりにより、さらに建築技術者の不足が予測されています。ロシア侵攻に起因する建築資材の不足や円安による輸入価格の高騰等で、建築需要にブレーキが掛かる懸念もありますが、建築系技術者の慢性的な人手不足は今後も続く可能性があると思われます。

2022 年 4 月から富山の射水市の専門学校内に「建築デザイン学科」が新たに設置されたことから入学生獲得競争が激しくなるかもしれません。県内専門学校で唯一建築学科を有する本校は、今後もじっくりと学科と資格の有用性についてアピールして若者に建築の魅力を伝え、さらに金沢の地の利を生かした教育を行っていこうと考えています。

（３）各課の事業報告等について

[教務課]

＜主な業務内容＞

４月	新入生データの取り込み及び学籍簿作成、教科書等の入荷検品　等
５月	学校基本調査、会員校概況調査　等
６月	マスターコース専攻科募集要項の作成及び試験　等
７月	私立学校実態調査　等
８月	自主点検表作成と依頼　等
９月	入学試験問題作成　等
１０月	前期成績集約と発送準備、保護者向けアンケートの発送と集計　等
１１月	学生向けアンケート配布　等
１２月	教職員１０年表彰申請、学生向けアンケート集計　等
１月	休学者への復学伺い発送、次年度カリキュラム作成　等
２月	次年度学生諸費等取りまとめ、卒業式関係準備　等
３月	卒業式関係準備、次年度教科書等発注　等

昨年度に一部導入した電子媒体によるアンケートを、2023 年度からは保護者、学生すべてで実施できるよう準備を進め、大幅な業務効率の改善につなげたいと考えています。

進学率については、１年生から２年生への進級率は 86.9%（213 名→185 名）と昨年度の 88.4%と比べて 1.5 ポイントの減少となってしまいました。退学の要因としては学習意欲の低下や目的意識の喪失、学力不足、進路変更など多岐に及びますが、国による修学支援制度もあってなのかコロナ禍などによる経済的事情による退学はほとんどありませんでした。

進学率の悪化は入学生数が増えても在学生数が増えない要因となりますので、学生へ分かりやすい授業を心がける事や学校生活でのケアの充実を図る事により、進級率の改善と退学率の減少に向けての教職員のさらなる努力が必要と考えております。

［就職課］

＜主な業務内容＞

５～７月　　校内会社説明会、就職ガイダンス

９～３月　　内定状況報告（石川県総務部・ヤングハローワーク）

１１～１２月　　就職ガイダンス

通年　　就職活動の相談受付、面接対策

履歴書、エントリーシートなどのアドバイス

＜求人状況と就職率について＞

令和４年度の卒業者（就職希望者数 143 名、進学希望者数 11 名、進路未定者 13 名の計 167 名）への求人状況については前年度に引き続き好調で、求人数は就職希望者数の約 11 倍（1,554 名）に達しました。就職希望者数 143 名に対して就職内定者数 139 名となり、就職内定率は 97.2％（前年度：96.4％）となりました。

学科別の就職内定率は次の通りです。

（学科別就職内定率）

	学科名	令和２年（2020）（%）	令和３年（2021）（%）	令和４年（2022）（%）
自動車系	自動車工学科（M）	１００．０	１００．０	１００．０
	自動車工学科（T）	１００．０	１００．０	※　０
情報系	情報工学科	９２．９	９５．１	９７．９
	ビジネスパソコン学科	６６．７	１００．０	１００．０
映像音響系	映像音響学科	７５．９	８５．２	９２．９
電気系	電気エネルギー工学科	１００．０	１００．０	１００．０
建築系	建築学科	１００．０	１００．０	９６．７
	家具クラフト学科	８７．５	１００．０	１００．０

※令和４年（2022）　自動車工学科（T）の 0%は卒業者数９名に対し、８名が進学１名が就職を希望しなかったため。

学科別の状況は、自動車工学科では東北のディーラーからも求人票をいただくなど自動車整備関連企業の求人意欲は強く、令和４年度で内定率 100%を 13 年間連続で維持出来ています。就職活動開始のタイミングは早く、1 年生の夏休みにはディーラーを中心に会社見学会を実施し 2 年生進級時には 81.0%が内定を得ている状況です。情報系の学科では東京など関東圏を中心とした情報処理関連企業からの求人にとどまらず、会社内の DX 化に対応するために社内のシステムエンジニアなど多岐に渡る分野からの求人があります。建築学科では、施工管理職の求人が最も多いものの、学生が希望するケースは少ないため、施工管理職の魅力を伝えるため校内で会社説明会など実施しています。映像音響学科においては 2020 年にコロナ禍で激減したイベント系の企業の求人が徐々に回復しています。その他の電気関係の企業においては、新卒者のなり手不足

を背景に旺盛な求人意欲があり、この傾向は令和５年度も同様な傾向が予想されます。

近年の売り手市場に油断することなく、全学科において、学生に対しては産業技術者としての必要な技術力はもちろん、社会人としての素養を身につける指導を粘り強く行うとともに、本校と企業とのパイプを一層強化するなど、令和５年度も就職内定率95%以上を目標に精一杯取り組みたいと考えております。

[学生課]

＜主な業務内容＞

４月	通学証明書作成、自動車通学証明書作成、奨学金説明会 ゴミ出しマナー講座、学生健康診断
５月	春のレクリエーション
１０月	秋のレクリエーション
２月	新２年生　通学証明書作成
通年	日本学生支援機構奨学金手続き、学生の生活指導及び交通指導 通学証明書・学割の発行、外国人留学生在籍調査 保護者・学生対応

本校は 2 年前から高等教育無償化対象校となり、給付型奨学金の申請が可能となりました。返済が必要な貸与型奨学金とは違い、給付型奨学金は返済の必要がないため、就職後の負担が少なくメリットが大きい制度です。保護者と学生の経済的負担減のために、多くの学生に利用してもらえればと考えています。

また、本校の学生は広範囲の地域から通学しているため、多くの公共交通機関で学生割引を利用できるようにしています。

このように学生課はより良い学校生活を送るために大変重要な職務を担っています。少しでも多くの学生の学校生活をサポートできるよう努力したいと考えています。

[広報課]

＜主な業務内容＞

○ 学校案内書及び募集要項、チラシ・ポスターなどの作成

○ ホームページの情報更新

○ SNS 及びホームページにおいて学校や学科の情報や News を発信

○テレビ及び動画配信におけるＣＭ放映／テレビ取材(パブリシティ)対応

○資料請求及び問い合わせ、見学等の対応

○高校訪問の時期と内容

・４月	パンフレット等の配布と卒業生、在校生の状況報告など
・６～７月	体験入学会への参加促し、在学生就学状況の報告
・９～１０月	入学願書受付の案内、就職内定状況などの報告

・１２月　　翌年カレンダーの配布と出願に対する手続き等のお礼

〇業者運営によるガイダンスへの参加

・高校においての分野別ガイダンス(主に自動車で参加　他 情報・建築など)

・高校においての体験型ガイダンス(主に自動車で参加　他 情報)

・高校や会場においての学校別ガイダンス

〇専各連合会主催「学びフェスタ」などイベントへの参画運営

〇ＤＭ制作発送(年 2～3 回)

〇各進学情報誌及び進学情報サイトへの広告掲載(原稿制作含む)

（リクルート、マイナビ、JS コーポレーション、進研アド、イトクロ　等)

〇高校関連、マスメディアへの広告掲載

〇体験入学会の運営(年間 17 回)

〇入学願書受付及び入学試験に関わる運営

〇その他、学生交流イベントの企画運営

2022 年度の活動においては、ある程度の効果反応を得ており、媒体については歩留まりなども考慮しながら、効果あると考える媒体は 2023 年度も継続。前年度の活動をベースにブラッシュアップしながら、2023 年度の計画を進めて行きます。

学科においては、引き続き、自動車工学科の PR に力を入れ、続いて、入学者の安定を図る上で情報工学科の PR も強化したいと考えおります。

コロナ収束の流れにより、高校ガイダンスなどの開催増加が予測され、ガイダンスは対面にて魅力を伝えられる場でもあるので、広報スタッフはもちろん、先生方にも協力をいただき、参加対応していきたいと考えております。

また、来年度入試より出願受付をインターネットでのみ行うため、志願者がスムーズに出願できるようにシステム導入等、環境をしっかりと整えていきます。

（４）校舎施設、教育用設備等について

＜令和４年度の実績＞

教育用設備面では、映像音響学科に 2 台の４Ｋメモリーカムコーダー（￥781,000）と４Ｋフルサイズミラーレスカメラ 1 台と付属レンズ 5 種類（￥1,264,897）を導入しました。

また自動車工学科に 1 級自動車整備士養成課程を設置した関係上、アライメントタスター1 台（￥2,959,000）の更新を、さらに電気エネルギー工学科において電気機器組み立て技能士検定対策に必要となるシーケンス制御実習装置（￥392,700）1 台の導入を行いました。

校舎施設面では、別館の１階及び２階のトイレが、未だに和式のままであった為、これを洋式にするための改修工事（￥2,238,967）を行いました。

さらにＬＥＤ化が遅れていた別館の教室･実習場照明と本館階段に設置されている非常灯のＬＥＤ化を実施。(￥3,520,000)。

また 2021 年 1 月の大雪により再び被害を受けた別館の太陽光発電設備の復旧工事を実施しました（￥6,589,000）。

その他としては、本館東側駐車場のアスファルトの傷みが激しいため、駐輪場を含めて全面再舗装の修繕工事を行いました。（￥1,650,000）また別館 1 階自動車実習場の雨漏りが発生した為、西壁面の防水工事を実施しております。（￥2,200,000）

学生寮においても屋上の太陽光発電設備の 8 年使用したＰＣＳ1 台に不具合が生じたため、これを交換しております。（￥605,660）

Ⅲ．財務の概要

１．事業活動収支計算書

（単位：円）

区分		科目	
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	356,747,500
		手数料	11,052,720
		寄付金	0
		経常費等補助金	16,937,900
		付随事業収入	6,278,843
		雑収入	9,706,365
		教育活動収入計	400,723,328
	事業活動支出の部	人件費	180,685,681
		教育研究･管理費支出	144,102,988
		徴収不能額等	1,197,500
		教育活動支出計	325,986,169
	教育活動収支差額		74,737,159
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息･配当金	1,133,688
		その他の教育活動外収入	504,000
		教育活動外収入計	1,637,688
	事業活動支出の部	借入金等利息	7,266,156
		その他の教育活動外支出	0
		教育活動外支出計	7,266,156
	教育活動収支差額		△ 5,628,468
経常収支差額			69,108,691
特別収支	事業活動収入の部	資産売却差額	0
		その他の特別収入	0
		特別収入計	0
	事業活動支出の部	有価証券評価損	0
		固定資産除却損	0
		教育活動外支出計	0
	教育活動収支差額		0
基本金組入前当年度収支差額			69,108,691
基本金組入額合計			△ 52,678,049
当年度収支差額			16,430,642
前年度繰越収支差額			△ 886,587,665
基本金取崩額			0
翌年度繰越収支差額			△ 870,157,023

（参考）

事業活動収入計	402,361,016
事業活動支出計	333,252,325

２．貸借対照表

資産の部　　（単位：円）

科目	期末残高
固定資産	1,849,655,662
有形固定資産	1,838,216,422
その他の固定資産	11,439,240
流動資産	1,063,364,235
資産の部合計	2,913,019,897

負債の部

科目	期末残高
固定負債	340,000,000
流動負債	475,173,774
負債の部合計	815,173,774

純資産の部

科目	期末残高
基本金	2,968,003,146
第1号基本金	2,942,003,146
第4号基本金	26,000,000
繰越収支差額	△ 870,157,023
純資産の部合計	2,097,846,123
負債及び純資産の部合計	2,913,019,897

３．財産目録

（単位：円）

科目	
資産総額	2,913,019,897
基本財産	1,849,655,662
運用財産	1,063,364,235
負債総額	815,173,774
固定負債	340,000,000
流動負債	475,173,774
正味財産	2,097,846,123